

支えの森

1999. 第17号
荒木脳神経外科病院
新聞委員会発行
責任者：荒木 攻

日本医療機能評価機構について

院長 荒木 攻

医療界は厳しい競争の時代に入り、

患者に選ばれない病院は淘汰されてゆく運命にある。このため、各病院は「こそて、「二十一世紀に通用する病院」の摸索を続けていたのが、現状である。」(J)つした中で、平成7年に発足した財団法人「日本医療機能評価機構」(以下「機構」と略)が、最近になって注目を集めている。

(J)の「機構」は、医療施設の機能を学術的、中立的に評価するとともに、その結果、明らかとなつた問題点の改善について助言し、相談に応じることを目的に設立されたものである。

その事業内容は、(1)病院機能評価事業、(2)評価調査者(サーベイジャー)の養成事業、(3)医療評価に関する研究・開発事業、(4)医療評価に関する普及・啓発事業よりなる。

一般病院に対しても、「Jの「機構」は尊重する」と、プライバシーや利便

次に掲げることを評価する。

- ①病院の理念と組織的基盤。一即ち、病院の基本方針と、中、長期計画や病院全体の管理体制、職員への教育、研修などについて評価。
- ②地域ニーズの反映。一即ち、病院の、地域における役割についての認識や、他施設との連携体制、救急医療活動などについて評価。
- ③診療の質の確保。一即ち、診療の質を確保するための基本的活動や、診療を支える各部門の機能、診療にかかる安全管理などについて評価。
- ④看護の適切な提供。一即ち、看護提供における理念と、組織的基盤の整備、職員の能力開発や、看護ケアのための環境整備、看護ケアの提供状態などについて評価。
- ⑤患者の満足と安心。一即ち、患者を尊重する」と、プライバシーや利便

性への配慮、サービスの改善の努力や、患者の安全への配慮などについて評価。

⑥病院運営管理の合理性。一即ち、人事管理、财务管理、業務管理などの合理性と適切性や、医療事故への対応などについて評価。

又、この「機構」を受審することにより、病院にとっては、次のようないくつかの効果と利点がある。

1. 改善すべき問題点が明確になる。
2. 評価を受けるための準備が改善のきっかけになる。

第四次医療法改正の行方が定まらない

い時点で、当院の今後の方針は立てにくい状態にあるが、我が国は今、未曾

有の財政危機に直面し、行政組織の減量、効率化を目的として独立行政法人化(民営化すること)をすすめ、すでに

に国立病院等計八十八機関が独立行政法人に移行することが決定している。

こうした流れの中で、病院間の競争

に更に拍車がかけられることは論を待たない。従って、当院としても、「こ

れまで十三年間なんとかやってこれたのだから、これから先もなんとかやつ

ていけるだろう。」という安易な考

えでは、将来の明るい展望はみこめない。

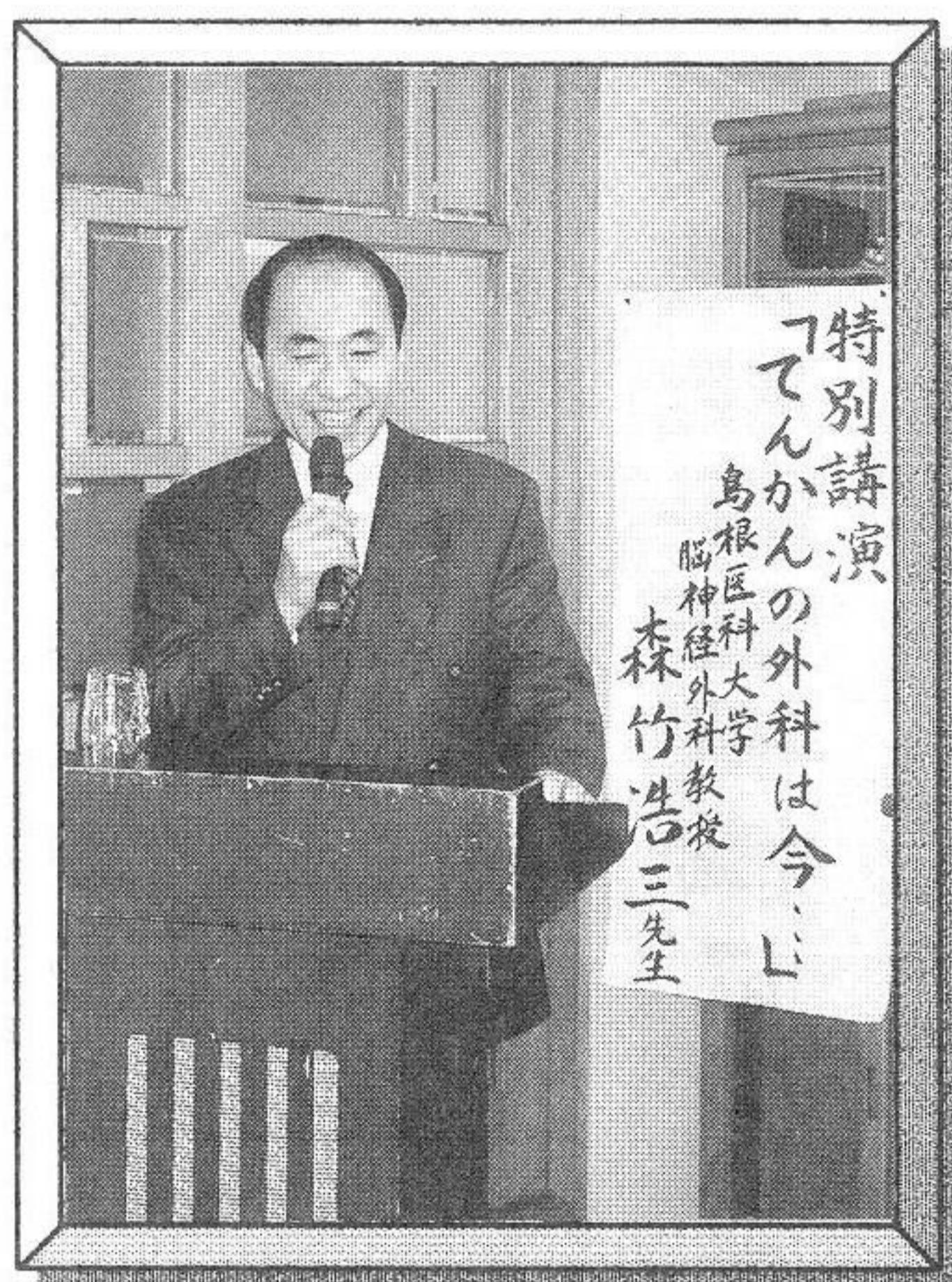
この「機構」の評価の結果、病院が指摘された問題点を適切に受け止め、その改善に取り組んで成果が得られる

評価認定を受ける一般病院はA・B二種類に分けられる。一般病院Aは地域に密着し、住民に身近な医療機関として概ね、一次機能までの医療に対応している比較的規模の小さい病院であり、一般病院Bは地域が必要とする各領域の医療において基幹的、中心的役割を担い高次の医療も対応しうる一定の規模を有する病院である。

この点、当院の「Jとく小規模単科病院で高次の医療にも対応できる病院の場合、どのような病院種別に組込まれるのかは、今後の課題であろう。

この点、当院の「Jとく小規模単科病院で高次の医療にも対応できる病院の場合、どのような病院種別に組込まれるのかは、今後の課題であろう。

当院では、定期的に各地でご活躍中の先生方をお招きして、職員の学術・知識向上を目的とした勉強会を開催しております。これまでの講師は、琉球大学 島田勝政教授、広島大学総合診療部 井上正規助教授他です。今回も、3月に来院されました、島根医科大学脳神経外科教室 森竹浩三教授の講演会を取り上げてみました。



講演をされる森竹教授
(5階食堂にて)



“個人消費の拡大と地域経済の活性化”を目的として始まった『地域振興券』。色々と問題もあったようですが、スタートして早2ヶ月が経ちました。

さて、この地域振興券。当院でももちろん使用できます。“取扱店ステッカー”が目印です。ただ、額面以下の金額で使用されても、お釣りは返ってきませんので注意が必要です。又、広島市発行の券しか使用できませんので、こちらもあわせて注意して下さい。

詳しくは1階受付まで。



「取扱店ステッカー」

◆ わかりやすい講演 ◆

「てんかんの外科は今」と題した森竹教授の特別講演は、3月20日(土)、病院5階食堂に溢れる程の職員を集めて行われました。

てんかん外科の第一人者、森竹教授より、病理、画像診断、手術や治療等、多方面から見た“てんかん”をわかりやすく話していました。教授は、職員からの質問にも丁寧に答えて下さり、予定時間を大幅に超えていました。

幅にオーバーする程の大盛況で、非常に意義深い講演となりました。

◆ 職員に好印象 ◆

森竹教授は、講演に沢山の人があり、熱心に耳を傾けてくれたそう

です。また講演後は、院長の案内で院内を見学され、「コンパクトだが、脳外科の病院として機能的に優れ事に好印象を持たれたそうでした。」と、感想を話してくれました。

(若宮 浩一郎)

非常に動きやすく作られていました。

“てんかん”という一つの

分野を、ライフワークのように長く続けて研究しておられるそ

森竹特別講演

いのちへの 優しさとおもいやり



ご希望の方は、1階受付にて
ご自由におとり下さい。

*瀬田　甲次へ看護学生
「3月末より看護学生とし
て、勤務させて頂いている瀬
田です。学業と仕事の両立を日指し
張りたいと思います。ご指導
の程よろしくお願ひ致しま
す。」

* 山本 明子（4階看護婦）
「3月11日から4階病棟に勤務させて頂いてる山本明子です。迷惑ばかりかけるとおもいますが、あきれず指導して下さい。よろしくお願ひします。」

* 檜並 千絵子（看護助手）

「2月から勤務させて頂い
ます、檜並千絵子です。」

「介護職は初めてなので皆様方
にまづ迷惑をかけながら働いて方
になります。一日も早く足手まいと
てお手伝いします。」

「ご指導よろしくお願いします。」

新人の皆さんへ…

「全世界の人口は52億人と言われています。その52億人の中でいっしょに働ける人の和というのは非常に数少ないものです。

つまり、我々は非常に深い縁で結ばれたという事となります。

皆さん、よい社会人となるよう、よい職員となるよう願っています。

又、色々議論し合って働きがいのある職場作りを、皆さん自身めざしていただきたいと思います。」

(3月25日、歓送迎会の院長先生の挨拶より、一部抜粋)

瀬田 水谷 山本 榎並 大野

* 山口 美奈（看護学生）
「山口県の岩国市から来ました。音楽聞いたりするのも好きです。一番好きなのは寝ることです。早く仕事や患者さんの名前を覚えてがんばります。」



大本 今村 山口

好きなアクター

No.1 レオナルド・ディカプリオ
No.2 テボン・サワ

好きなアクトリス

No.1 アリシア・シルバーストーン
No.2 リブ・タイラー

一言：「盛大なパーティーを開きたい！」

* 今村 真美（看護学生）	誕生日	S 55年5月2日
趣味	星座	おうし座
あだ名	映画	音楽鑑賞
好きなアーティスト	(Barry more)	マンブー、バリモア

* 大本 真美	(看護学生)
誕生日	10月3日
星座	てんびん座
血液型	O型
趣味	読書
好きな食べ物	料理 プリン

* 大野 智恵子(2階看護婦)
「私は今年准看護婦の免許
を取得します。春から正看護婦学校
へ進学します。勤務は短時間ですが、たく
く勉務は少しだけです。しかし、知識と技術を身に付け
て、お役に立てるよう頑張ります。」

新 劇 場 行 進

のだが。晴れていたのだから、桜の木の下で、飲んだり食べたりしてたかったなあと心残りはある

ただ欲を言えば、せっかく



庚午集会所にて

今日は、日頃お世話になつてゐる地域の方々が、たくさん参加して下さつていた。普段、職員同士でもゆつくりと話す機会はなく、又、地域の方々と接することもないの

で、大切な一時を過ぎさせたよう

うに思う。

ただ欲を言えば、せっかく

のだが。

のものは雨天のことを考え

て、庚午集会所の中で行われ

たのだが……。

しかし、まあ、花見の会そ

のものは雨天のことを考え

て、庚午集会所の中で行われ

たのだが……。

例の「花見」の会が催された。やや桜は散り始めた頃ではあつたが、満開の桜よりも私にとつてはそれが落ちついた気

分にさせてくれ、それはそれで心地よかつた。

しかし、まあ、花見の会そ

のものは雨天のことを考え

て、庚午集会所の中で行われ

たのだが……。

▼お花見

川島 雅明

去る4月8日、荒木病院恒

例の「花見」の会が催された。

やや桜は散り始めた頃ではあ

つたが、満開の桜よりも私に

とつてはそれが落ちついた気

分にさせてくれ、それはそれ

で心地よかつた。

しかし、まあ、花見の会そ

のものは雨天のことを考え

て、庚午集会所の中で行われ

たのだが……。

行事報告

来年はどうい

う風になるのか

分からぬが、

もつと職員間の

コミュニケーションがはかれる

機会が増えると

いいなあとと思う花見の宴で

あった。

(理学療法士)

▼歓送迎会

加藤 敏子

3月25日(木)、5階食堂

にて歓送迎会が開かれ、今

ました。(退職者の方も数名

おられましたが……)

緊張した面持ちで最初は皆さん並んでおられましたが、机いっぱいに並んだ食事をい

ただき、各部署の方々とのコ

とができました。

一年前、期待に胸をふくら

ませ、看護学校へ入学したこ

とが、つい昨日のことのよう

に思えます。一年間、無事に

過ごせたことを心から感謝し

ました。

(秘書室)

ミニケーションが進むう

ち、しだいに緊張もとけ、和

やかな雰囲気の会となりまし

た。

私自身は、院長先生のお話

の中の、「全世界の人口52億

人の中で、こうやって一緒に

働くという事は、非常に深

い縁で結ばれている」という

言葉が大変心に残った会でし

た。

▼載帽式を終えて

中八栄

3月11日、無事に載帽式

を終えてキャップをいただく

ことができました。

一年前、期待に胸をふくら

ませ、看護学校へ入学したこ

とが、つい昨日のことのよう

に思えます。一年間、無事に

過ごせたことを心から感謝し

ました。

(看護学生)

今回、ようやく卒業をする

ことができました。長い三年間

だったと思いますが、きつ

い勤務と学校生活を無事、終

了することができたことを、

とてもうれしく思います。

そして卒業を迎えることが

できたのも、両親をもとに、

病院の皆様のおかげではない

かと思い、深く感謝をいたし

ております。どうも、見守つ

ていただきありがとうございます。

（4階看護婦）

載帽式で先生方よりキャップをいただいた時は、言葉にならないくらい感動しました。また、病院内でも看護婦さん、患者さん、家族の方々など、みなさんに“おめでとう”と言つていただいて、改めてキャップの重きを考えさせられました。

キヤップにふさわしい人間になるようこれからも努力していくつもりです。

(看護学生)

~あめでとうございほす~

★赤ちゃん誕生

3/28、天野和江さん(2階主任看護婦)のところに2人目の男の子が誕生しました。

名前は、雄登(ゆうと)くんです。“よろしくね”

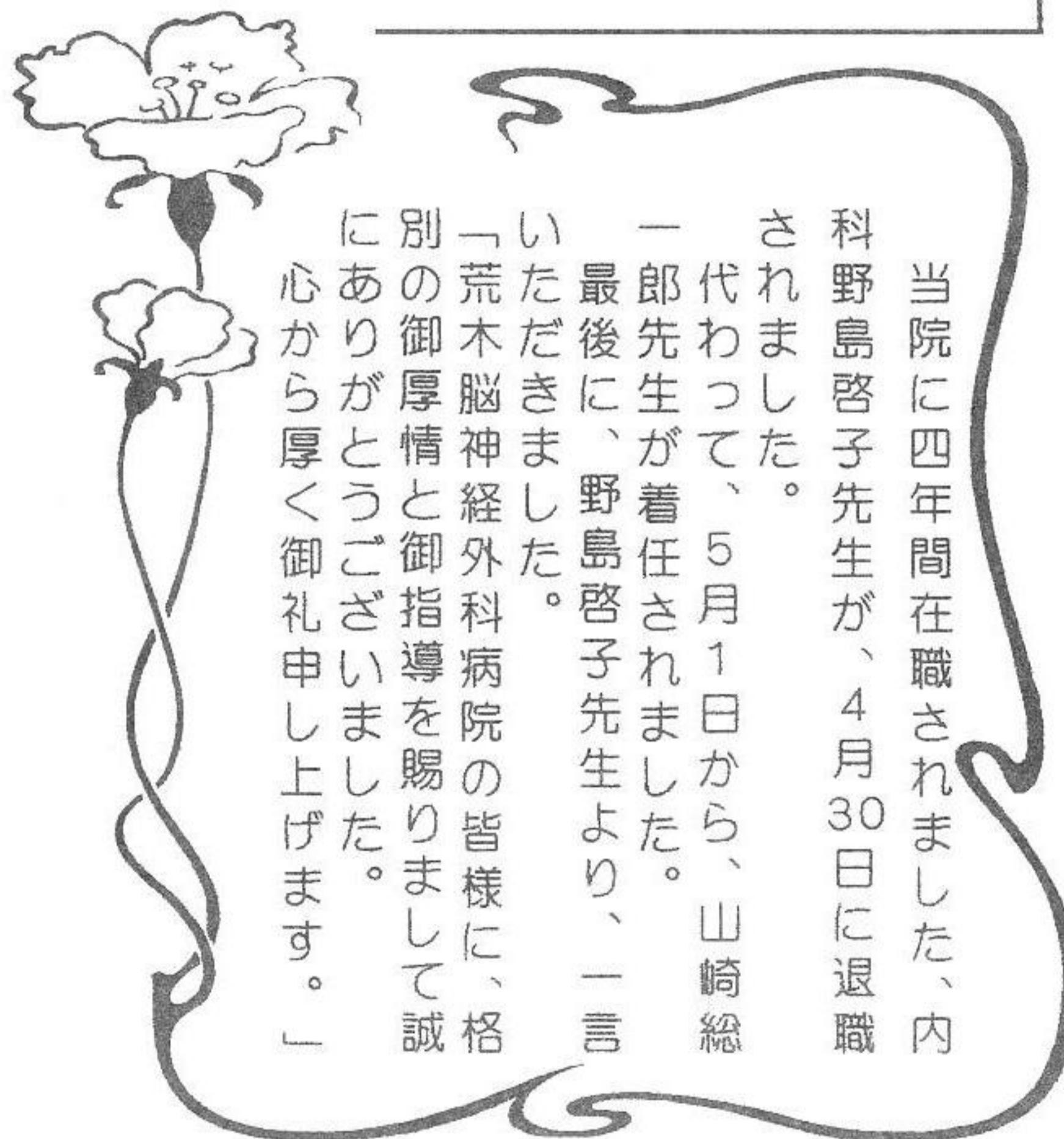


★載帽式を迎えました

・中 八栄さん（看護学生）

★看護婦国家試験に3名合格

- ・森田 敬子さん（3階看護婦）
- ・小田 ゆかりさん(4階看護婦)
- ・山本 明子さん（4階看護婦）



当院に四年間在職されました、内
科野島啓子先生が、4月30日に退職
されました。

新規開通日と誕生日が同じ私にもお祝い
を！

ちなみに、おいしいトンコツラーメンの店があつた
朝は十分早く起きるとい
う今年の目標は今のところ
達成されている。 S・H

お知らせ

(4月15日
現在)

主任看護婦

4階
外来

3階
福島由美子
長屋和子

倉舗和子

*2/12 榎並千絵子（看護助手）
*3/11 水谷万器子（4階看護婦）

*2/20 板谷裕子（2階看護婦）
*3/2 大島雅美（看護助手）
久保三千代（看護学生）

太田ひとみ（3階看護婦）

甲斐文子（看護学生）
佐々木昌子（）

田原奈美（）

岡崎淳子（）

津留崎啓子（）

真倉恭子（事務）

*3/31 *3/20 *3/2

板谷裕子（2階看護婦）
大島雅美（看護助手）
久保三千代（看護学生）

太田ひとみ（3階看護婦）
甲斐文子（看護学生）
佐々木昌子（）

田原奈美（）

岡崎淳子（）

津留崎啓子（）

真倉恭子（事務）

板谷裕子（2階看護婦）
大島雅美（看護助手）
久保三千代（看護学生）

太田ひとみ（3階看護婦）
甲斐文子（看護学生）
佐々木昌子（）

田原奈美（）

岡崎淳子（）

津留崎啓子（）

真倉恭子（事務）

◆採用◆

◆退職◆

3階
福島由美子
長屋和子

倉舗和子

4階
福島由美子
長屋和子

倉舗和子

3階
福島由美子
長屋和子

倉舗和子

4階
福島由美子
長屋和子